

● 本書の見方 ●

本書は、医療者に向けて「医療訴訟に関する疑問、質問、解決策について、わかりやすく解説する」というコンセプトのもとに執筆されました。難解な法律用語が飛び交い、複雑な経緯をたどる医療訴訟を、医師、弁護士、女子高生の3人が会話するなかでわかりやすく解きほぐしていきます。



医師（弟）：医療者の立場から、兄の弁護士に医療訴訟にかかわる法律や裁判について聞いていきます。読者は基本的に医師の立場となって読んでいただくのがいいかと思います。

弁護士（兄）：法律や裁判所の考え方を紹介した上で、馴染みのない法律用語を多用せず、できる限り平易な用語・表現を用いてわかりやすく解説します。重要用語は青太字にアンダーラインで強調しています。



女子高生：患者さんや一般の人が聞きたいこと、素朴な疑問を率直に医師や弁護士にぶつけます。「一般の方ならこう思うだろうなあ」というようなことも言います。

このように、点線で囲われている箇所は判決の引用文です。

本書の主な読者が医療者であることを想定し、わかりやすさを優先して表現や用字用語を変更しています。それは、医師と弁護士の会話の中で、判決や法律用語を「」内に引用している場合でも同様です。また、点線で囲われている、判決の引用文については基本的にそのまま掲載していますが、医療者にとってわかりにくい用語や誤解しやすい表現などについては一部変更したところがあります。このような変更をしている部分について、「一部改変」等と断ることはしていませんが、若干の表現の改変がある前提でお読みください。